



# 新しい朝

府中市立府中第十中学校  
学校だより No.10  
平成 29 年 12 月 25 日

## 限りあるからこそ命は尊い

校長 竹内 康裕

新聞投稿文から命の尊さについて考えてみたいと思います。

「初孫の誕生を心待ちにしていた母は、昨年の大晦日に亡くなった。乳がんの手術を受けて約一年。母は本当に頑張った。苦しい治療にも激しい不安にも、ひたすら耐えた。『こんな思いは、誰にもさせたくない。』自分より、人のことを思いやるやさしい母だった。

家に帰れる日を夢見ていた母がある日、ポツリと言った。『お母さんは、本当は家で死にたいな。でも、先生も看護婦さんもよくしてくれるから、最後までこの病院でお世話になることにしたよ。』心を込めて接してくれた担当医には本当に感謝している。医療現場では、知識も技術も不可欠だ。しかし、一番欠けてはいけないのは、『人としての心』だ。『大丈夫ですよ』という医師の一言。背中をさすってくれる看護師の暖かい手。時に、どんな薬より効き目があることを、私は目の当たりにしてきた。

『あれだけやれば、悔いはないでしょう』といわれるほど、私も父も弟も看病したが、もっとしてあげたかったと思うのが家族だ。命の尊さを身を持って教えてくれた母が、私に残した手紙はこう結んであった。

『・・・頑張りたい。命ある限り 』

母が抱くことの出来なった新しい命が先月、生まれた。母の強さ、優しさを子どもにも伝えたい。」  
(主婦 広井洋子さんの新聞投稿より)

私たち人間は、一人で生きているのではなく、「支えあう関係」のなかで生きています。広井さんの文章からは、広井さんの母親の素晴らしい生き方が伝わってきます。初孫への思い、最後の最後まで諦めず、頑張りたいのは、初孫に会いたかったのではないか。家族への母親らしい強く優しい振る舞い、お世話になったお医者さんや看護師さんへの心からの感謝の思いなどから、人の尊厳や命の尊さが感じられます。

人の生命について、私は次のように思います。

- ・ 個々の生命は、それぞれが唯一無二のものであること。  
一人一人が輝きを持ち、大切な存在であるものです。
- ・ 生命は時間的に有限であること。  
命には限りがあります。だからこそ生きている今をどう生きるかが大切になります。
- ・ 個々の生命は時間的に有限であるが、連続性があること。  
親から子へ、またその子へと引き継がれていくものです。
- ・ 生命はいろいろな要素によって維持されているものであること。  
私たちは様々な人やあらゆるものに直接または間接的に支えられ、生かされています。
- ・ 自分がここまで育つには、多くの人々からの大きな恩恵と深い愛情があること。  
自分の誕生には多くの人の愛情や祝福に包まれ、たくさんの人の支えがあります。

人生において、時に思わぬ出来事に遭遇し、前途に自信が持てず不安を感じることもあると思います。このようなときこそ、生きている意義をしっかりと把握して、生命の尊さを是非思い起こして欲しいと思います。

終業式、大晦日、新年、始業式。暦も学校もそれぞれ節目を迎えようとしています。健康に十分留意され、よいお年をお迎えください。

## ■□ クリスマスの集い ■

12月9日（土）に、西府文化センターにおいて、コミュニティ協議会が主催するクリスマスの集いが行なわれ、十中からは、生徒会の呼びかけに賛同した6名がボランティアで参加しました。

まずは遊戯室で小さな子供たちが思い思いのクリスマスカードを作るのを優しく丁寧に手伝ってあげていました。カード作りの後は、講堂に移動して、人形劇「三匹のこぶた」を観ました。分梅町にある「オフィスやまいも」という人形劇団が演じていましたが、大人が見ても感動するくらい楽しい劇でした。続いて、十中生が子供たちにトライアングルやラッパなど楽器を配って回り、みんなでクリスマスソングを歌いました。歌を歌い終わると、サンタが現れて大抽選会となりました。

イベントがすべて終了し、子どもたちやお父さん、お母さんがいなくなったら片付けです。いつものことですが、ボランティアに参加する十中生は後片付けにとっても熱心です。あっという間に飾りつけやカーペットを片付けてしまいました。ご苦労様でした。

次は1月27日（土）のびよんちゃんまつりです。参加を期待しています。よろしくお願ひします。

西府文化センターの入り口には、昨年の特別委員会が寄贈したクリスマスツリーがきれいに飾ってありました。

### 【ボランティア参加者の感想】

- 去年もクリスマスの集いに参加していたので、仕事内容はある程度知っていたのですが、今年は私たちが一番年上ということもあって緊張しました。しかし、参加者全員で協力できて良かったです。参加者をもっと多く集まるとうれしいです。ご協力よろしくお願ひします。（2-2 杉田京さん）
- 最初は指示されたことをひたすらやっていたのですが、子供たちと接していくうちに、楽しくなって、自分からいろいろと働くことができました。人形劇はとても楽しめました。サンタさんの帽子をかぶってみんなを喜ばせることもできました。今回参加して良かったです。（2-3 山本晴菜さん）
- 今回のクリスマスの集いでは、地域の方々の協力がすごいいいと思いました。最初の準備の時は、クリスマスカードの作り方を丁寧に教えていただき、うれしかったです。子供たちが来てからは、笑顔で対応することができ良かったです。（2-1 藤崎由芽さん）
- 十中生が担当したクリスマスカード作りのブースにたくさんの子供たちが来てくれて、大変でしたが、とてもやりがいがありました。小さな子供との会話など経験することができて良かったです。複数の子に教えることができず、効率が悪かったと反省するところがありました。次回ボランティアの機会があれば積極的に参加し、反省点を生かしたいと思います。（1-3 松橋 愛さん）
- たくさんの子供たちと触れ合えました。地域の方は「今日は子供たちが少ないね」と話していたので、これ以上に子供が来るなんてとても人気の行事だと思いました。ボランティアの仕事では、子供にクリスマスカードの作り方を教えたり、袋に入れてあげたりとても大変でしたが、とてもやりがいがありました。またボランティアがあったら参加しようと思います。（2-2 高橋竜輝くん）
- クリスマスの集いに参加して、ボランティアはよいものだと思います。短い時間でしたが充実した活動だったので、来年も参加したいと思いました。小さい子に「ありがとう」と言われた時はうれしかったです。（2-2 高桑空輝くん）



## ■□ 体力向上 ■

10月の「体力向上月間」に、男子はハンドボール投げと50m走(1年)・反復横とび(2年)・上体起こし(3年)、女子は握力と上体起こしを強化種目として、保健体育の授業を中心に体力アップを図りました。11月にその成果を確認するために、体力の測定を行いました。ほとんどの種目で平均の数値が上がっていました。

1年男子	< 50m走 >	8.6秒↗	8.4秒	< ハンドボール投げ >	17.9m↗	18.5m
2年男子	< 反復横とび >	48.3回↗	52.6回	< ハンドボール投げ >	20.6m↗	21.2m
3年男子	< 上体起こし >	29.2回↗	33.3回	< ハンドボール投げ >	21.1m↗	22.9m
1年女子	< 握力 >	20.9kg⇒	20.6kg	< 長座体前屈 >	46.1cm↗	50.7cm
2年女子	< 握力 >	23.1kg⇒	23.0kg	< 長座体前屈 >	48.4cm⇒	48.2cm
3年女子	< 握力 >	23.9kg↗	24.2kg	< 長座体前屈 >	45.7cm↗	48.0cm

※各種目とも、左が4月～7月に測定した平均値、右が11月に測定した平均値です。

※体力向上は↗、ほとんど変化なしは⇒、体力低下は↘で表しています。

## ■□ 作品展示会 ■

12月2日(土)から8日(金)まで、教育相談期間に併せて作品展示会を行いました。6日間で延べ238名の保護者の皆様にご鑑賞いただきました。ありがとうございました。

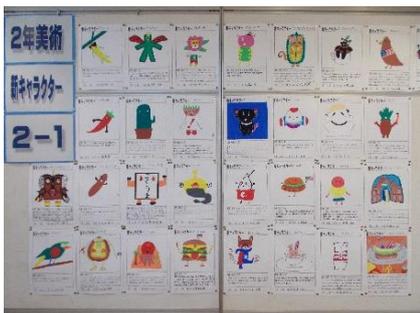
日頃の学習の成果や制作努力が感じられる作品がたくさんありました。総合的な学習の時間の作品はどの学年も校外学習等の調べ学習の発表でしたが、やはり学年が上がるほど、見方や表現の仕方が工夫されていて、引き寄せられる作品が多かったです。



< 1年国語：毛筆書写 >



< 1年美術：モザイクタイル >



< 2年美術：新キャラクター >



< 2年技術：LEDあんどん >



< 3年総合：修学旅行学習 >



< 3年家庭：絵本 >



< 3年美術：ゴッホ模写 >



< アート部 >

## ■□ 全校合唱集会 ■

12月20日(水)の5校時に、全校合唱集会を行いました。3月の音楽祭に向けて、現時点での自分たちの合唱を精一杯表現し、また、他学年の合唱を聞き、今後の課題や目標を明確にすることが大きな目的でした。まだ練習途中で、完成した合唱ではありませんでしたが、全体としては良かったと思います。しかし、まだ、聞く人に「感動」を呼ぶまでには至っていませんでした。実行委員長の印南くんが最後に話していた通り「それぞれの思いを合唱に込めていく」ことが大切なのだと思います。全校合唱、学年合唱、クラス合唱と、たくさんの曲をつくり上げていくのは大変ですが頑張っています。

来年の4月に入学してくる五小の6年生を招待して合唱を聞いてもらいましたが、みんな真剣に中学生の合唱に聞き入っていました。そんな中、合唱が終わってほっとしたのか、学年移動の時の中学生はやや緊張感に欠けていたように思います。どんなことも最後までやりきることが大切です。

合唱は十中生の誇りです。心をつなげてすべての人たちに感動を与える合唱を作り上げてくれることを願っています。音楽祭を楽しみにしています。



## ■□ クリスマスコンサート ■

12月21日(木)の放課後に、第1音楽室にて吹奏楽部のクリスマスコンサートが行われました。十中生、保護者、教員など100名に近い観客で音楽室からあふれるほどでした。10月に行われた府中市立中学校連合音楽会で3年が引退し、1・2年生だけで演奏する初めてのステージでした。サンタやトナカイの衣装で演出し、クリスマスソングなど4曲を演奏しました。少し早いクリスマス。楽しいひと時を過ごしました。

3月にはスプリングコンサートがあります。みんな楽しみにしているので、吹奏楽部の皆さん、練習頑張ってください。



## \*\*\* 「武蔵府中熊野神社古墳歌ものがたり」参加者募集 \*\*\*

2月3日(土)に府中駅南口市民活動センタープラッツのバルトホールで、熊野神社古墳の特別講演会と熊野神社古墳歌ものがたりが上演されます。すでに1・2年生には募集要項が配布されています。当日の様子はビデオで撮影し、記録として保存されます。また、J:COM等の取材があるかもしれませんので、ご了解の上、興味のある人は参加してみてください。これもボランティア活動の一つです。



熊野神社古墳については、まだ解明されていないことがたくさんありますが、歴史上とても価値のある遺跡がすぐ側にあることは間違いありません。大切にしていきたいです。

\*\*\* よいお年をお迎えください \*\*\*